

# 花とみどりと笑顔

平成27年10月9日  
上田市立北小学校  
学校だより NO9



「やればできる！」  
精一杯やりきった運動会

10月3日(土)、素晴らしい秋晴れの空の下、校庭運動会が行われました。

どの学年の子どもたちも練習の成果を十二分に発揮し、思い出に残る素晴らしい日にすることができました。学校長は、閉会式のあいさつで、

『新しい自分に出会う』『挑戦する』『仲間感謝する』 力を出し切って達成した運動会だった』と話しましたが、本当に力いっぱいやったことで、結果だけではなくやりきることができた自分、状況に応じて様々な仕事に自分から取り組めた自分、仲間と協力して活動して仲間のよさを再認識できた自分等々、様々な新しい、素晴らしい自分に出会うことができたのではないかと思います。一人一人の心の中にある「種」をしっかり育てることのできる素晴らしい運動会になったと思います。

また、校長はこうも話しました。

「本日の運動会、全校490名中490名の参加、欠席0です。前日まで体調が悪く欠席していた人

やれば できる

武者小路実篤

できる できる

真剣になれば できる

できないと思えば できない

どこまでも積極的に

できることは できると信じて

永遠に自分は進歩したい

できる できる

必ず できる

<学校長は、10月7日(水)の校長講話で、この詩を使って、児童の運動会での頑張りについて話しました。>



や、前日大きなけがをしてしまった人もいた。しかし、そんな人も休もうとせず、できる範囲で参加することを選んだ。仲間を信じ、全力投球した運動会であった。」

保健室のベッドで横になりながら種目に参加する児童、腕にギブスをはめながら短距離走に参加する児童の姿を見たとき、これが北小学校、これだけの規模はあっても欠席する者なく運動会ができるのが北小学校、北小学校の子どもたちだ、ということを実感しました。

保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、素晴らしい成長を見せている北小学校で学ぶ子どもたち。是非この学びを、次の学習サイクルへの大きな原動力とすることで、更なる成長を図っていききたいと職員一同考えています。

#### 保護者の皆さんへ御礼

- 本年度は隣の商業施設から苦情はきませんでした。
- 座席用のシートが風で舞わないようにするための石を、周辺に置かず、指定した「石捨て場」に捨てたり、持ち帰ったりしていただきました。また、ゴミなどもきちんと持ち帰っていただきました。（ほとんどごみはありませんでした）
- 当日の片付けのとき、多くの方に手伝っていただきました。早く終わりにすることができました。

## 全国学力・学習状況調査 北小の結果から

過日行われました、全国学力・学習状況調査についての結果がまとまりましたのでお伝えします。

本校では、学力に関して

「基礎とは、子どもに規制の学力を強いることではなく、目を輝かせ、喜びをもって心身を躍動させるエネルギーを育てることであり、学力とは教え込まれた知識の断片の集積量ではなく、自ら学ぶ力の強さである」

と考えています。その点から、「学習状況調査」の結果について重視しています。

以下、調査を行った6学年の、「学習状況調査」についての分析結果を載せますが、本校で考える学習の「基礎」、「学力」観点から、課題と思われる点が見えてきています。この結果を基にして、今後の北小学校における、全学年の指導の方向を考えていきたいと思います。保護者の皆様にもご理解をいただき、協働して指導していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## テレビ・ゲーム時間これでいい？

～北小6学年の学習状況調査より～

### (1) 生活リズム篇

質問番号	質問	H27 6学年	H27県	H27全国
1	朝食を毎朝食べる	食べていない 1.2%	0.4%	0.9%
2	毎日同時刻に就寝	していない 4.8%	2.6%	3.9%

3	毎日同時刻に起床	している 58.3% していない 2.4%	61.5% 1.2%	60.0% 1.8%
10	平日テレビ視聴	4時間以上 23.8%	17.1%	19.2%
11	平日テレビゲーム	4時間以上 13.1%	6.5%	9.1%
12	平日インターネット	4時間以上 6.0%	2.1%	3.1%
16	平日一日当たり読書量 (マンガ雑誌除く)	1時間以上 13.1% 全くしない 22.6%	17.7% 17.5%	17.6% 19.9%
17	新聞を読んでいる	ほぼ毎日 2.4%	9.0%	8.7%

児童の学習に対する姿勢や学校生活に関わること、将来のことや生活リズムについてなど様々な分野において、87項目に及ぶ調査も同時に行われました。その中で、とても気になったのが、「テレビ視聴・ゲームをする時間の多さ」です。平日4時間以上テレビやDVDを見ている子は、23.8%、3時間以上4時間未満見る子も22.6%。合わせると、実に学年の半数近い児童が毎日3時間以上テレビを見ていることとなります。ゲームも4時間以上する子が13.1%、3時間以上は8.3%。読書量や新聞を読む児童の割合や時間は低くなっています。思考力・創造力を育むには由々しき結果です。

## (2) 学校生活篇

質問番号	質問	H27 6学年	H27県	H27全国
48	国語の勉強が好き	はい 19.0%	24.5%	24.8%
56	段落や話のまとまりを理解して読む	あてはまる 29.8%	36.5%	37.2%
51	読書は好きですか	はい 41.7%	53.1%	48.9%
55	自分の考えを書く時、理由がわかるように書く	あてはまる 23.8%	28.9%	32.1%
57	今回のテストで、解答を文章で書く時の気持ち	全て最後まで書く努力をした 81.0%	79.5%	77.7%
58	算数の勉強が好き	はい 33.3%	37.3%	38.7%
60	算数の授業はよくわかる	よくわかる 47.6%	44.2%	46.9%
61	新しい問題に出会うと解きたくなる	あてはまる 46.4%	52.6%	52.7%
62	解き方がわからないときは諦めずに考える	あてはまる 47.6%	43.8%	45.5%

「国語や算数などの勉強が好き」という意欲が県平均よりも低いことがわかります。その一方で、「最後までテストをやりきる努力」は非常に高く、「解き方がわからなくても諦めずに考える」割合も県平均を上回っています。ここから、好きでないことも頑張ろうとする児童の多い学年である

ことがわかります。また、「国語の勉強が好き」な人の割合の低さと、「読書が好き」の割合の低さは、関係があると言えます。テレビ視聴の時間を少しずつでも「活字を読む」→「自分の考えを持つ」という習慣にかえていきたいものです。

### (3) 児童意識篇

質問番号	質問	H27 6学年	H27 県	H27全国
6	自分にはよいところがある	あてはまる 21.4%	34.6%	36.3%
5	失敗を恐れなくて挑戦している	あてはまる 20.2%	24.5%	25.6%
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意	あてはまる 21.4%	18.3%	20.6%
8	話し合いで友達の話最後まで聞ける	あてはまる 41.7%	57.2%	55.8%
9	将来の夢や目標がある	あてはまる 65.5%	69.8%	70.5%
24	学校に行くのは楽しい	あてはまる 54.8%	53.6%	55.3%
26	みんなで協力してやりとげ、うれしかった経験	ある 61.9%	55.1%	54.2%
32	学校の決まりを守っている	あてはまる 16.7%	41.2%	41.7%
34	いじめは絶対いけない	はい 75.0%	81.4%	81.8%
29	地域や社会をよくするために何か考えることがある	ある 8.3%	12.9%	14.8%
35	人の役に立つ人間になりたい	思う 65.5%	71.0%	71.6%

今回の調査で、私たちが一番考えさせられたのは、この「児童意識篇」です。

「自分にはよいところがある」自己肯定感、「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは絶対いけない」「社会をよくするために何か考える」「決まりを守る」といった公共の意識や規範意識、思いやりといったものが、いずれも全国平均を下回ったことです。子どもたちは、一人ひとりそれぞれにいいところがあり、賜物があります。「ぼくはこれでいい」「私は必要とされている」という自己肯定感は、子どもたちの心の根っこの部分を支える力になります。一人ひとりのよいところを本人が自覚できるような声かけや働きかけを心がけていきたいと思えます。

(文責 教頭 甘利尚之)